

# 建設工業新聞

6月5日  
月曜日

発行所 北陸工業新聞社

本社 〒921-8111  
金沢市若草町2番42号  
電話(076)241-8361(代)  
支局 福井・富山・新潟

## 日綜産業

# 安全・施工性を高次元で融合

## システム吊り足場 クイックデッキが県内初採用

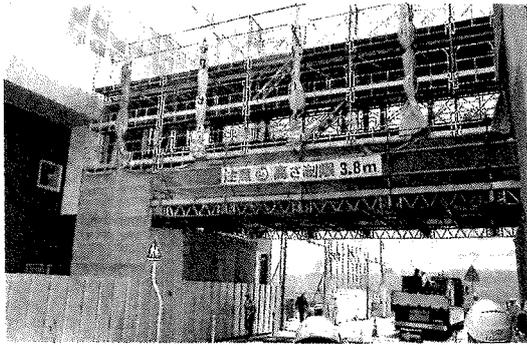
日綜産業(本社・東京都 小野大代表取締役社長)のシステム吊り足場「クイックデッキ」が県内

キが採用されており、施・永井工業JVが担当している。工は中越興業・共榮建設

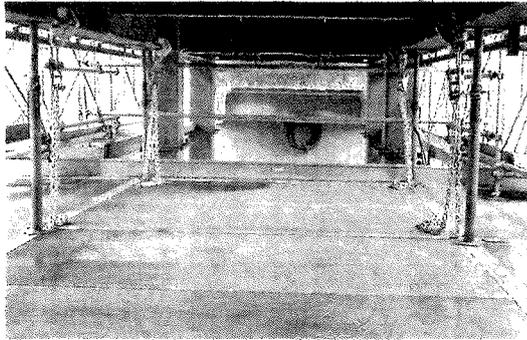
クイックデッキは、システム化された床ユニット

内で初めて特別支援学校屋内運動場建設工事に採用され、市道をまたぐ渡り廊下での工事に、安全面や施工性の高さなどで威力を発揮している。

この工事は、既存校舎から市道を挟んで向かいの敷地に屋内運動場を新設する工事で、校舎棟と屋内運動場を市道上部を通る渡り廊下でつないでいる。現在、この渡り廊下の施工でクイックデッ



市道上部の渡り廊下で採用し歩行者の安全を実現



作業者の安全を確保するフラットな空間

トよりの足場架設を安全に行えるほか、熟練工を必要としない組立方法で人手不足を解消でき、従来足場の約半分の時間で組み立てることができ。これに加え、高強度の吊りチェーンの採用により、吊元を従来技術と比べ4分の1から最大6分の1に削減できることで無隙間・無段差の快適で広大な作業空間を確保でき、作業効率・安全性の向上を実現している。

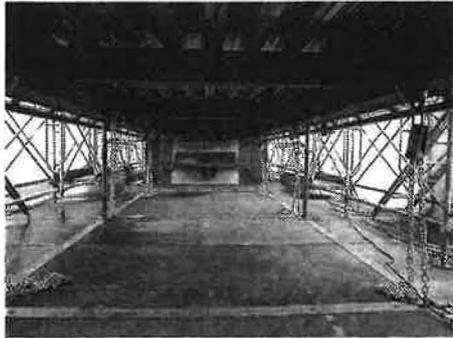
今工事を統括する中越興業の石田誠工事長は「とにかく、安全ということが一番。作業スペースから物が落ちる心配がなく、部材も軽く作業性が高い上に強度も高い。また、地組で吊り上げるため高所作業も減ることによって安全性に貢献している。多少の初期費用はかかるが工期を短縮でき、労務費などの費用を削減できるため総合的な経済性は高い」などと利点を挙げ、引き続き他現場への展開に意欲を示す。

4月30日(延長)まで

# 建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社  
〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町3-13-7  
電話(03)3259-8711  
FAX(03)3259-8730  
©日刊建設通信新聞社 2017

## 効率作業と安全性が好評



快適な作業空間

日綜産業の「クイックデッキ(先行床施工式フロア型システム吊り足場)」が新潟県内の工事現場(特別支援学校屋内運動場建設工事)で初めて採用され

### 新潟県内で初採用

た。簡便かつ迅速な組み立て、作業の効率化と安全性の向上という特長は施工者から好評を得ており、同県の他の現場への普及が期待される。

同工事を施工する中越興業・共栄建設・永井工業JVの石田誠工事長(中越興業)は、屋内運動場と既存の校舎をつなぐ渡り廊下の整備に伴って生じる、市道の交通規制を出来る限り短くするため、「クイックデッキを取り入れた」と説明。

先行して建設した施設本体の天井鉄骨塗装で試験施工し、「在来工法と比べ、組み立ての期間が圧倒的に早く、まさに「クイック」と評価する」と



もに、「(床などの)組み立て後の吊り上げや無隙間、無段差の作業空間、落下物の防止対策などにより安全性が格段に上がった」と加える。特に「足場の」解体作業の危険性が減った」と話している。

た」という。

現在は渡り廊下の整備へと移行しており写真、体育館天井部と合わせ、約300平方メートルのクイックデッキを採用している。

日綜産業新潟営業所の桐生活信所長は、公共、民間建築物や橋梁など土木構造物の耐震化、老朽化対策の高まり、専門工業者などの口コミにより「クイックデッキの引き合いは増えてきている」と紹介。既に2例目(跨線橋補修工事)も動き出し、今後「クイックデッキの特長を」しっかりとPRして、さらなる拡大に努めたいと話している。

# 日刊建設産業新聞

発行所  
日刊建設産業新聞社  
本社  
〒173-8710 東京都板橋区板橋1-48-9  
電話 03(3961)1891(代表)  
ファクス 03(3961)2251  
(<http://www.kensan-news.com/>)  
支社  
大阪、神奈川、九州、中国、東北、甲信越  
支局  
埼玉、中部  
© 日刊建設産業新聞社 2017

## 新潟県内 屋内運動場と渡り廊下に 初の採用

### 組立時間は在来工法の約半分

日 産 業  
ク イ ッ ク デ ッ キ

日産産業のシステム吊り「新潟県内の特別支援学  
校屋内運動場建設工事」井JV、足場組立Ⅱ菊池

組に県内で初採用され、作業空間の安全確保と効率性に貢献している。クイックデッキは発売3年目で納入・稼働中の現場が200件を超え、高評価を得ている。今回の現場ではS造の屋内運動場天井部分鉄骨の塗装時に約200平方メートルを納入。加えて、屋内運動場と校舎を繋ぐ渡り廊下で市道(幅員10・3メートル)の上空を通過する部分に約100平方メートルが納入された。現在、施工中の渡り廊下部分は地上で組み上げ、地上3・8メートルまでクレーンで吊り上げて設置Ⅱ写真。この間約半日の通行止めで作業を設置作業を完了した。クイックデッキは基本

鋼製部材が全てシステム化されていることから、専用工具を必要としない簡易な組立が可能であること。高いシステム強度を有することからチェーンピッチが通常の吊り足場よりも広く、作業空間が広いこと。先行床施工のため作業床を高所でも安全に行えること。床面がフラットで隙間が無く、落下物の危険性が軽減されていることなどが特徴。発売以来、改良も



進み同社の3Sシステムの機能を付加した手摺、支柱、床材のたわみ防止など独自の技術を追加している。施工を担当している中越興業の石田誠所長は「当初、在来工法とクイックデッキの両方を試験施工し比較した結果、在来工法の50%程度の組立時間短縮を確認した」と成果を確認している。また、「安心して高所作業ができる環境であり、床に隙間が無いので物が落ちる心配がない」と評価しており、「安全・安心と作業効率と」を考えた場合でもクイックデッキの有効性は評価できる」としている。

6月6日

2017年  
(平成29年)

火 曜 日  
第18848号(日刊)  
土、日曜・祝日は休刊

Metal & Technology

# 鉄鋼新聞

日綜産業のクイックデッキ

## 新潟県内で初採用

日綜産業はこのほどの採用実績となった。

新潟県内の特別支援学校  
校屋内運動場建設工事  
(施工・中越興業、足  
場組立・菊地組)で新  
型システム吊り足場ク  
イックデッキを納入し  
た。

屋内運動場の鉄骨塗  
装に200平方メートル、渡  
り廊下工事に100平方  
メートル、計300平方メートル  
採用。新潟県内では初



クイックデッキ  
で人手不足解消  
と安全性を確保

クイックデッキの特徴  
の削減で効果大。

施工業者は「今回の  
組み立ては通常1日か  
は人手不足解消と安全  
性の確保。①簡易な組  
み立て②先行床施工式  
かるところが半日で済  
み、とにかく安全」と  
評価。これまで橋梁や  
駅舎改築大規模建築工事  
などで採用されてい  
る。

⑦工期短縮と付随費用

### クイックデッキ 新潟県で初採用

日綜産業、300平方メートル

クイックデッキ



暫仮設大手の日綜産業(本社)東京都中央

区、小野大社長)の新  
型システム吊り足場  
「クイックデッキ」が  
このほど、新潟県内の  
特別支援学校屋内運動  
場建設工事(施工)中  
越興業、共榮建設、永  
井工業JV)で、運動  
場と渡り廊下合わせて  
約300平方メートル採用さ  
れたと発表した。新潟  
県内の採用は初めて  
で、工期は本年9月中

旬まで。  
同製品は従来に比べ  
て吊チェーン間隔が広  
く、段差やすき間のな  
い快適な作業空間を構  
築できる。また従来型  
工法に比べ足場工期  
間の75%削減を実現し  
た。国交省のNETI  
S(新技術情報システ  
ム)登録済み(登録番  
号)TH-15000  
7-A)。2014年6

月の発表以来、納入・  
稼働中の現場は200  
件以上となり、大型商  
業施設や工場天井部の  
新築・改修工事、新幹  
線高架の改修工事など  
幅広く採用されてい  
る。特に天井改修工事  
用足場では、工場を稼  
働させながら改修工事  
ができる点が評価され  
ている。  
今回の採用現場で  
も、吊りチェーン間隔  
が広く作業性に優れる  
点や、先行床方式で足  
場の組み立てや工事を

安全、安心に作業でき  
るとの評価が得られて  
いる。同製品を採用し  
た工事長は「一人の墜落  
や工具の落下を防ぐの  
に非常に有効。従来工  
法より組み立ての時間  
を大幅に短縮すること  
もできた」と話す。  
日綜産業・新潟営業  
所は今後の方針とし  
て、学校や工場の改修  
工事、県内で予定され  
る道路の橋梁補修など  
への採用にも注力して  
いく。